

# 市ヶ尾中Time

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao>

<学校教育理念>

## 自立貢献

発行者：校長 竹下 恭子  
市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

### 春の兆しを感じる日々

#### ◆文化学習発表会 今年度の取組を振り返って◆



柔らかな日差しに春の訪れを感じる日も増えてきました。3年生は卒業式を目前に控え、市中での1日1日を大切に過ごしています。1, 2年生はそんな先輩の姿を目の前にして、さまざまな思いを抱いているようです。先月末、1, 2年生および7, 8組による文化学習発表と、閉会式をテレビ集会で行いました。



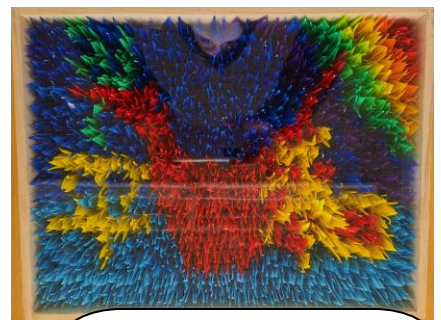
今年度の文化学習発表会は、例年とは全く異なる形の行事を企画するところからはじまりました。10月29日のオープニングセレモニーの後およそ4か月にわたり、クラスで、委員会で、部活動で、時間を生み出したり、アイデアを出し合ったりして、さまざまな工夫を積み重ねてきました。それぞれのアイデアが実を結び、市中の日常の取組に相応しい内容の発表となりました。どのクラスもSDGs17のクラステーマに沿った動画、掲示物であり、関わった人の思いが伝わる内容でした。

この、前例がないところから創りあげたことは、さまざまな場面で今後も生かせるものと思います。クラスに与えられた目標はそれぞれ違えども、全クラス、団体を通して感じるのゴール17ではないかと感じました。共に支え、つながり、だれもが暮らしやすい学校生活を送ることができるように、これからも考えて行動に移していけるということを発表から感じました。まさに今年のテーマ「change our life」につながる取組を、今後も実行していきたいものです。

#### ◆3年生 平和集会を開きました◆

卒業を目前に控えた3月某日、3年生が平和集会をテレビ集会で行いました。課題探究学習がまん延防止等重点措置の延長により中止となったため、本来広島平和記念公園で行われる予定だった内容を、放送という形で行いました。

被爆体験の方のお話を視聴し、代表生徒による平和宣言、3年生制作の折り鶴お披露目、閉会の言葉と続きました。



折り鶴の中央に「平和」の文字

◎平和宣言を行った多田壮真さん(4組)の文章の一部を、紙面で紹介します。

※文章は昨年書かれたものです。

2020 東京オリンピックが先日開催されました。誰もが知るマークの五つの輪はアジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、オセアニアの五つ(大陸)を表し、世界はひとつであるということを示しています。その昔、ギリシャではオリンピックのある年は戦争中でも中断し、参加しないといけませんでした。これが「平和の祭典」と呼ばれる所以です。戦争が起きる原因は、宗教、民族、資源、領土、政治など様々な要素が複雑に絡み合うことによるものです。オリンピックはそれらをすべて取り払い、選手たちの才能とたゆまぬ努力を最高のステージで披露し、大きな勇気と感動を与えてくれました。また我が国は様々な困難の中、ホスト国として各国の選手を最高の笑顔とおもてなしで迎え、素晴らしいオリンピックだったと世界中から思っただけだと思っています。

新型コロナウイルスは人類と見えない敵とが戦う戦争です。私は人類への様々な警鐘だと考えます。しかし「死

におびえ無力であった人間がウイルスに打ち勝ち終息したとき全世界の人々があたりまえの「平和」の重要さに気づき、愚かな戦争を二度と起こすことはないと思信しています。

私たちは過去の戦争で犠牲となった人々の思いを背負って生きています。その思いに報いるためにも、一番大事なことは相手への理解です。オリンピックで馴染みのない国に興味をもてたことは、世界の理解へのきっかけにもなりました。私たちは人種・文化・信条などの多様性をきちんと理解し、それを受け入れる平和な世界にしていこうと、全力で貢献します。

◎課題探究実行委員長 林田康希さん(3組)のお話が、これまでの平和学習の活動を総括するものでしたので、一部を紙面で紹介します。

私たちは1年以上もの間原爆を通して平和について考えてきました。インターネットで調べたり、友だちと意見を共有したりしながら、一人ひとりが平和に対する考えを深めることができたのではないかと思います。「平和」とは何か。それは自分たちで作り出すものですが、答えはありません。戦争が無いだけで平和といってしまうのでしょうか。核兵器がなくなれば平和な世の中に近づくのでしょうか。逆にちょっとしたトラブルで「平和な世の中ではない」ときめつけて良いのでしょうか。考え方は人それぞれ。何もかも普遍的なものとするのではなく、自分なりの平和を探していかななくてはなりません。それらが上手く重なり合うところに互いの関係、つまり本当の平和が生まれるはず。現在、ロシアとウクライナを中心に世界の経済をも巻き込む大混乱と緊張が加速しています。このピンチは我々が世界をよりよくするために行動を起こせるチャンスです。

## ユネスコスクールの学校図書館づくり

図書館司書 梶村 ちほ

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。校内のいろいろな場所から卒業式で歌う「旅立ちの日に」の練習が聴こえてくる季節になりました。学校図書館でこっそり声を合わせては近づいてくるお別れに、目を濡らしながら過ごしています。



学校図書館では3月4日に年度内の貸出しを終え、4月からの貸出冊数は昨年度を70%も上回る5814冊となりました。生徒のみなさん、ご利用ありがとうございました。引続き生徒のみなさんのリクエストも取り入れながら「読みたい本の見つかる学校図書館」をめざしていきたいと思います。



図書館は読書の場所であり、また、学習のための情報基地でもあります。学校図書館では昨年度から引き続き「ユネスコスクールの学校図書館づくり」を進めてまいりました。今年度は夏に文化学習発表会の準備のためのイベント「SDGsにつながる本の展示会」を図書委員会主催で開き、秋には「福祉体験学習」の導入としての絵本の読み聞かせ動画の放送や「木のストロッププロジェクト」に関連する本の紹介活動をするなど、学校全体のESDの動きに寄り添った運営をすることができました。

その総まとめとして3月3日より横浜市立山内図書館のティーンズコーナーにてSDGsへの学校としての取組を紹介する展示を行っています。この展示では文化学習発表会に向けて図書委員会が準備した「食べるでつながるSDGs」の内容を基に、ご家庭や地域の皆様にも身近に取り組んでいただけるSDGsのアクションを紹介しています。山内図書館に足をお運びの際はぜひご覧いただき、会場に掲示してあるQRコードよりご感想をお寄せいただくと幸いです。3月末まで展示する予定です。また山内図書館主催の「青葉区学校図書館活動展示」も同時に開催されており、そちらにも市ケ尾中学校図書館の活動を紹介します。

さて、春休み明けまでしばらく学校図書館はあたらしい学年にむけての準備期間となります。生徒のみなさんの来館をお待ちしています。

